

普段はなかなかお伝えすることができない本校の歴史について今日は簡単に触れさせていただきます。本校がニューヨークのクイーンズに開校したのは1975年9月2日のことでした。今年で開校から43年になります。開校当初は、初等部3年生から6年生だけで、校舎は地元の教育委員会から公立校の校舎を借用していました。ところが、12年後の1987年、教育委員会から校舎の賃貸期限を1990年9月までとし、校舎を返還するようという要請が来てしまいました。そこで審議会は特別委員会を設置し、約1年間にわたり20数カ所の候補物件を調査、検討しました。その結果、最終的にグリニッチのデイクロフト校を購入し改造するという決定がなされたのが1988年9月のことです。しかし、実際にグリニッチに移転開校したのは1992年ですから、決定から実際の開校までには約4年の年月を要したということになります。この間、学校の開設には、タウンの2つの機関により審査を受け、承認を得なければなりません。一方は、交通量への影響と住民の安全確保、住民の生活の質へのインパクトといった観点について、一方は、主に建物の改造内容等設計全体について、公聴会を開催して一般住民の意見を聴取しながら審査がなされました。近隣の住民の方々は、厳しい制限をつけるように公聴会で強く主張しました。2回目の公聴会は夜8時から翌朝4時まで続いたそうです。その結果、条件付で申請は認められました。生徒数に上限を設ける、通学にはスクール

バスを使用し保護者の送迎は禁止する、学校は月曜日から木曜日までの 8 時半から 3 時半までと金曜日の 2 時 45 分までとし、夜間、土曜日、日曜日は授業禁止とする、開校は 8 月中旬から翌年 6 月末までといった条件です。それでも近隣の方々は承認を却下するよう裁判所に提訴しました。最終的には裁判所の判断により、タウンの承認どおりに学校を運営することが認められましたが、グリニッチのコミュニティに学校が真に受け入れられるためには、近隣住民の方々との友好関係が第一という考え方で、その後も住民の方たちとの折衝を行いました。また開校後も地域に受け入れられるように教職員、保護者、児童生徒は様々な活動を行っていきました。その後 25 年あまりが経過し、ありがたいことに今、本校がこの地にあることは自然なこととなっています。児童生徒が地域で学習する際にも、好意的に協力してくださる方がほとんどです。私たちは、教職員や保護者の先輩方が苦勞した結果、今ここで学校を運営できていることに感謝し、お世話になっている地域の方々にも感謝する必要があります。長くなりましたが、現在の保護者の皆様にもこの経緯をご理解いただきたく、この場をお借りしてお話しさせていただきました。